



東アジア文化都市
北九州2020・21
CULTURE CITY OF EAST ASIA in KITAKYUSHU

イベント開催時における 感染症対策マニュアル

Ver.1

北九州市では、北九州市危機管理基本方針を踏まえ「大規模イベント危機管理の手引き」を定めています。この手引きでは、大規模なイベントで想定される自然災害、事件・事故等に対する総合的な安全対策について示しています。

今回策定した「イベント開催時における感染症対策マニュアル」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、イベントを開催する上で主催者が取り組むべき感染症対策について手引きとしてまとめたものです。

マニュアル策定の目的

北九州市は、日中韓の3か国において選ばれた都市が、文化芸術を通じて交流を行う東アジア文化都市の2020年開催都市に選定されました。2020年は、1年間を通して多彩な事業を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業のほとんどが中止、延期となっています。

こうした状況の中、本市は会期を2021年12月まで延長することとなり、この秋から、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じつつ、開催可能な事業について順次取り組んでまいります。

コロナ禍において、市民の皆様安心してイベントに参加していただくために、厚生労働省が示す「新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式」を踏まえ、「イベント開催時における感染症対策マニュアル」を作成いたしました。これから実施する東アジア文化都市の関連事業はもとより、市内で様々なイベントを再開していく上で参考にいただければと考えております。

感染症対策は、「飛沫を飛ばさない」ことがポイントです。

新型コロナウイルスを、

「飛ばさない(マスク着用)」

「受けない(適切な距離)」

「保持しない(消毒・手洗いの徹底)」

を合言葉に、安全で安心なイベント再開に取り組んでまいります。

感染経路について

一般的には、飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

① 飛沫感染とは

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つば等)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻等から吸い込んで感染することを言います。

② 接触感染とは

感染者がくしゃみや咳を手で抑えた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染することを言います。

③ マイクロ飛沫感染とは

人の飛沫が飛び散ると、一部小さな飛沫が空気中に漂います。換気が不十分なところで長時間その空気を吸うことで感染します。

北九州市

あなたとあなたの大切な人を守る

5つの行動目標

新型コロナウイルス感染症は、再び感染が拡大する恐れがあります。ウイルスとの長丁場の戦いに備えるため、今後も一丸となって感染拡大予防のための取組を進めていく必要があります。この5つの行動目標は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、みなさんのいのちと、大切な人のいのちを守るための、一つの道標となります。

1

外出するときは
マスクの着用

2

人との距離を
しっかり確保

3

こまめに手洗い

4

発症した時のために
自分の行動を
しっかりと記録

5

発熱等があるときは
事前に電話をして
から病院に行く

北九州市で定めた、新型コロナウイルス感染症から「あなたとあなたの大切な人を守る、5つの行動目標」。この行動目標を踏まえ、イベントを開催する場合にリスクを出来る限り減らす具体的な方法について基本原則を策定しました。

どのようなイベントであっても開催する以上、新型コロナウイルスの感染リスクをゼロにすることは不可能です。そのことを予めご承知いただき、この基本原則を順守しながら各イベントにおいて最大限の感染予防に努めてください。

イベント開催時における感染予防基本5原則

1 必ずマスクの着用を。

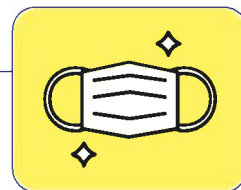
- いかなる場所でもマスクを常に着用する。
- 出演者等がマスクを着用できない場合などは、適切な距離を取るようにする。
- 来場者へのマスク着用のお願ひも徹底する。

※マスクを持参していない来場者がいた場合は、主催者側でマスクを配布し、着用率100%を担保

※乳幼児のマスク着用には注意が必要。2歳未満の着用は推奨されない。

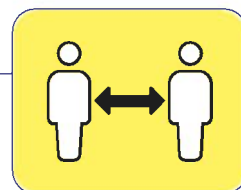
2歳以上の場合でも、子どもの着用には十分な注意が必要。

※気温・湿度が高い時は熱中症に十分な注意が必要。



2 適切な距離の確保と、定期的な換気を。

- ステージと観客との間隔や観覧席など全ての場所で適切な距離をとり、室内においては換気を十分に行う。
- 参加者同士の距離を適切に確保するとともに、対面を避ける席の配置や消毒・換気の徹底を図る。
- 主催者、関係者、スタッフ間で会場や控室内にて飲食を行う場合も、対面で座ることを避け、会話することを避ける。打合せなど会話を行う必要がある場合は、マスクを着用した状態で行う。
- 入退場列やトイレ・売店等での休憩時間の密集を回避する措置(人員の配置、導線の確保等)を講じる。また、密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、目安の人数上限等を下回る制限を行う。



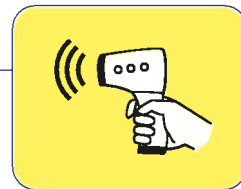
3 手洗い・消毒はこまめに。

- 手洗いの徹底をしっかりと行う。
- 手指消毒につとめる。大勢の人と一緒に作業をする前後に必ず手を洗う。
- よく触る部位(ドアノブなど)の消毒を行う。機材の消毒を頻回に行うことは難しい場合もある。従って手指消毒をきちんと行い、機材の消毒も1日1回程度として実施する。



4 毎日の検温と健康管理を。

- イベントの準備及び開催期間中は毎日の検温と体調管理のチェックを行い、管理者が把握する。
- プライベートにおいても感染症対策をしっかりと行う。



5 感染症に対応できる体制を。

- 体調が悪いスタッフには、休みを取らせ、他のスタッフがバックアップを行える体制を予め作っておく。
- 打合せにはオンラインを活用するなど、テレワークを推進する。



イベント開催の基準

イベント開催制限の段階的緩和の目安(収容率、人数制限)

	STEP 1 (2020年5月25日～)	STEP 2 (2020年6月19日～)	STEP 3 (2020年7月10日～)	当面2021年2月末まで (2020年9月19日～)
屋内	<ul style="list-style-type: none"> ● 50%以内 ● 100人まで 	<ul style="list-style-type: none"> ● 50%以内 ● 1,000人まで 	<ul style="list-style-type: none"> ● 50%以内 ● 5,000人まで 	以下に改めて記載
屋外	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分な間隔 (できれば2m) ● 200人まで 	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分な間隔 (できれば2m) ● 1,000人まで 	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分な間隔 (できれば2m) ● 5,000人まで 	



当面2021年2月末まで	
収容率	人数上限
<ul style="list-style-type: none"> ● 大声での歓声・声援等を伴わない場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、 伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会 等 *(注1) </div> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;"><u>100%以内</u> (席がない場合は適切な間隔)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大声での歓声・声援等が想定される場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、 公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでの イベント 等 </div> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;"><u>50%*以内</u> (席がない場合は十分な間隔)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 収容人数10,000人超 ⇒ 収容人数の50% ② 収容人数10,000人以下 ⇒ 5,000人 <p style="font-size: small;">[注] 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度とする (両方の条件を満たす必要)。</p>

(注1) これまで、「イベント中の食事を伴う催物」は、大声での歓声・声援等が想定されるものと扱ってきたが、必要な感染防止策が担保され、イベント中の発声がない場合に限り、「大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの」として取り扱うことができる。

※ただし、異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ内(5人以内に限る)では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

出典：文化庁政策課事務連絡(令和2年9月14日及び令和2年11月13日)

※東アジア文化都市2020北九州実行委員会はこの事務連絡に基づき以下の独自マニュアルを策定しました。
 今後、感染状況等に変化に応じてマニュアルの変更を行う場合があります。

新しいイベントに向けてのNew Standardフロー



01: 事前 感染防止に配慮した イベント準備計画

- ① 感染症対策を踏まえた実施内容の立案
- ② チェックリストの準備/作成
- ③ 感染予防備品の手配
(イベント内容に応じた安全・安心対策備品を準備)
 - マスク ● フェイスシールド
 - 非接触型検温器 ● アルコール消毒液
 - 飛散防止用ビニール・パーテーション
 - サイン ● 手袋
- ④ スタッフ・出演者の体調管理
- ⑤ 隔離スペースや導線の計画

02: 当日 参加者・会場の コントロール

- ① マスク/フェイスシールド着用義務化
- ② 客席・待機列の安全確保
- ③ 検温・消毒の事前実施
- ④ 非接触の対応
- ⑤ 導線、スペース確保による三密回避
- ⑥ 救護所・隔離スペースの設置、要員の配置
- ⑦ 備品・情報提供品等の消毒管理などの取扱い
- ⑧ スタッフ・出演者の体調管理

03: 当日 対策検証

- ① 主催者によるチェック

04: 事後 事後フォロー

- ① 感染者フォロー
- ② 個人情報の取扱い
- ③ (次回実施の場合) 準備計画の見直し

イベント実施時における具体的な対策について

前述の「新しいイベントに向けてのNew Standardフロー01～04」を実施するにあたっての具体策を下記に記載しました。各フローの項目に沿って、感染リスクを未然に防ぐための万全の準備を整えるとともに、安全安心に配慮した効果的なイベント運営を行います。

01 感染防止に配慮したイベント準備計画

事前情報の整理/確認

● 政府や行政のガイドラインからの恒常的な情報収集を行う。

- ▶ 内閣官房「新型コロナウイルス感染症対策」サイト内「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン一覧」
<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf?20200827>
- ▶ 福岡県 HP内「催物(イベント等)における感染拡大防止対策の徹底をお願いします」
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-cooperation-event.html>
- ▶ 北九州市 HP内「新型コロナウイルス感染症対策ページ」
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18901196.html>

● 運営スタッフに以下のいずれかの体調不良に該当する方が発生した場合には、『帰国者・接触者相談センター(北九州市)』へすぐに連絡するように指示する。

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
2. 重症化しやすい方(注)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
(注)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
3. 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
(症状には個人差があるため、強い症状と思う場合にはすぐに相談する。
解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様。)

- ▶ 帰国者・接触者相談センター(北九州市) TEL:093-522-8745(24時間受付)

● 全国的な移動を伴うイベント又は大規模イベント(参加者が1,000人を超えるもの)は、事前に県と相談する

- ▶ 福岡県窓口:福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局まん延防止班(TEL:092-643-3342)

計画項目

● 会場サイズに基づいた最適な人数での実施内容・集客人数を設定する。

※P4イベント開催制限の段階的緩和の目安参照

● **可能なかぎり、日時や座席の事前指定予約による人数調整を行う。**

(オンラインチケット予約など)

※オンラインチケット予約を使用することで、他に以下のメリットが得られる。

- ・予約時にお客様のメールアドレスなど運営側が指定する情報の取得が可能であるため、新型コロナウイルス感染者発生時に、お客様への連絡が可能。

● **来場者の入退場や区域内の行動管理ができない
広域的なイベントについては開催を慎重に検討する。**

※来場者の区画を限定、管理したイベントは実施可能。

● **アルコール消毒液の配置等による、
定期的な手指消毒が可能な環境の整備を計画する。**



● **スタッフ配布用フェイスシールド、
マスクの手配および着用率100%を担保する。**

● **人と人が対面する場所(受付など)は、
必要最低限のスタッフの配置計画とし、
アクリルパーテーション等予防対策品を設置する。**



● **動線上のサイン計画を策定。**

● **発熱等の症状のため入場制限をした場合の、
払い戻し措置等をあらかじめ規定しておく。**

● **スタッフ・出演者においては準備段階から
毎日の検温・体調管理を行い、
健康状態を監督者が把握するよう努める。**

[参考: 体調管理チェックシート(17ページ)]



● **有症状の出演者の制限を行う。**

※検温を実施、有症状の出演者は出演・練習を控える。

● **感染が疑われる人が発生した場合に備えて
救護所・隔離スペースを設置する。**

(可能な限りフロアを変える、動線を確保できる場所にする、屋外では特別テントを準備するなど、他人との接触の起こらないスペースを確保する。)

対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底し、速やかに帰国者・接触者相談センター(北九州市)へ連絡し、指示を受ける。また対応スタッフについても可能な限り、専従スタッフを配置する。

● **地域の感染状況に変化があった場合は柔軟に対応する。**

受付

来場者へのマスク着用の徹底

- 入場時・再入場時のマスク着用のお願いを徹底。
マスクを持参していない来場者がいた場合は、
主催者側でマスクを配布し、着用率100%を担保する。

※乳幼児のマスク着用には注意が必要。2歳未満の着用は推奨されない。2歳以上の場合でも、子どもの着用には十分な注意が必要。
※気温・湿度が高い時は熱中症に十分な注意が必要。

来場者の混雑緩和対策を検討

- 開場、休憩時間を延長する。
- チケット確認を簡略化する。
(目視による確認、スタンプの使用など)
- 入場待機列においては
十分な人と人との間隔(1m)を確保するよう努める。
- 状況に応じて、リストバンドを利用するなど、
お客様の滞在時間を管理。
入れ替わるタイミングを把握しやすくし、
再入場の際の確認も可能にする。



来場者の検温とアルコール消毒の徹底

- 入場時の検温、入場時・再入場時のアルコール消毒を
確実にを行うとともに、検温し体温が37.5℃以上や
体調不良の方は入場不可とする。



感染者との接触確認の対策を検討

- 可能な限り透明カーテンまたはアクリル板を設置する。
- 受付スタッフは、マスクまたは
フェイスシールドの装着を義務付ける。
- 来場者に接触確認アプリ「COCOA」の
インストールなど具体的措置を呼びかける。
例:インストールを促すアプリのQRコードを入り口に掲示するなど



- 万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意した上で、来場者の氏名、**連絡先の把握に努める。**



- 入場条件の説明・**安全対策の呼びかけ**を徹底する。

入場条件：発熱がなく(37.5℃以下)、咳・咽頭痛などの症状がないこと。
安全対策：マスク着用、手指消毒、マスクを持参していない来場者には主催者側でマスクを配布、COCOAのインストールを促すQRコードを掲示するなど。

- パンフレット・チラシ・アンケート等の**手渡しによる配布は極力避ける。**

※ケースに入れて据え置きにするか、後日郵送、またはメールでデータを送付する等に対応。
アンケートを取得する場合は、可能な限りWEBシステムなどを活用して収集する。

お客様対応

- 来場者に対して会場までの移動における**感染拡大防止の事前呼びかけ**を行う。

咳エチケットやマスク着用、混雑時間帯を避けた公共交通機関の利用、多人数による自家用車等での移動時の換気など。

- 体調不良者を把握した場合、救護所や隔離スペースに誘導する。

会場

- 会場となる各施設のガイドラインを遵守する。

- 来場者及びスタッフの**十分な人と人との間隔(1m)を確保**する。

- テーブル席の場合、テーブル間の距離を空け、一つのテーブルに着席できる人数を制限する等で、**十分な人と人との間隔(1m)を確保**できる配置にする。



- 入口と出口を分けるなど**入場退場の動線**を確保する。

- 退場の際、段階的に案内するなど**密にならないよう徹底**する。

- 大声を伴うイベントでは隣席との**身体的距離**を確保する。
同一の観客グループは座席を空けず、グループ間は1席(立席の場合は1m)空ける。

- 大声による**発声を抑止**する。

- ・大声を出す来場者がいた場合は、個別に注意する等の対応ができるよう人員を配置するなど体制を整備しておく。
- ・マスク着用を前提とし隣席者との日常会話程度は可能。
- ・スポーツイベント等では、ラッパ等の鳴り物を禁止する。

- 写真撮影時は、直前までマスクを着用し、会話を控えるよう呼びかける。
- 来場者の退席後、不特定多数が接触する場所の消毒を行う。
- 十分な清掃時間を確保し、清掃やゴミの廃棄を行う
スタッフは、マスクや手袋の着用を徹底する。
- ゴミ箱は清掃を行うスタッフがゴミに直接手を触れずに
廃棄できるようあらかじめ袋を設置しておく。
また、蓋つきのゴミ箱の使用や、こまめなゴミの回収など
来場者がゴミに触れることを避ける。
- スタッフ控室等にも空調設備の設置等による送風や
窓や扉の開閉によるこまめな換気の実施や
アルコール消毒液の設置など感染対策に努める。
- 出演者等と来場者が催物前後・休憩時間等に接触しないよう
確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがある
イベントについては開催を見合わせる。



室内時は特に

- 客席内および楽屋については、空調設備の設置による送風や
窓や扉の開閉によりこまめな換気を行う。

トイレ

- 不特定多数が接触する場所は、こまめに清掃・消毒を行う。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう促す。
- ハンドドライヤーや共通のタオルを使用せず、
ペーパータオルを設置する。
- 液体せっけんやアルコール消毒液を設置し、
手洗いや手指消毒を促す。
- 液体せっけん、ペーパータオルの補充をこまめに行う。
- トイレ待機列が十分な人と人との間隔(1m)を開けられるよう工夫する。



ステージ

- ステージから観客まで2mの距離を確保する。
- ステージの周りに来場者が殺到しないよう柵を設けるなどの対策を施す。

- 飛沫防止のためのアクリル板やビニールシートなどを可能な限り設置する。

※吹奏楽や合唱など、人の配置が重なり、飛沫が飛ぶ可能性が高い演目は特に配慮すること。

- ステージ出演者間も十分な間隔(1m)を確保する。
- 来場者をステージに上げる、参加者の発声をあおる等の演出は行わない。
- 握手などのスキンシップをとる演出は行わない。
- パフォーマンス終了の度に消毒を行う。

飲食スペース及び販売ブース

- スタッフの検温・体調確認を徹底する。
- 販売員のマスクまたはフェイスシールドの装着率100%を担保する。
- 対面での販売の場合、可能な範囲で透明カーテンまたはアクリル板を設置する。
- 現金の取扱いを減らすため、可能な限りキャッシュレス決済を導入する。
- 現金を扱う場合はトレイを使用して受け渡しを行う。
- レジ待機列が十分な人と人との間隔(1m)を開けられるよう工夫する。
- 不特定多数が接触する場所は、清掃・消毒をこまめに行う。
- 多くの人に触れるようなサンプル品・見本品は極力取り扱わない。
- 大皿での提供は避けて、個々に提供するかスタッフが取り分けるなどの工夫を行う。
- ビュッフェ方式の場合、料理をあらかじめ小皿に取り分けておくか、取り分けさせる場合は蓋等でカバーするとともに頻繁にトング等を交換するなど工夫を行う。
- 料理やドリンクの受け渡しは、手渡しでなくトレイを使用する。
- 食事中以外はマスクを着用し、会話をする際は可能な限り真正面に向き合うことを避けるよう呼びかける。
- 飲食店での密集を回避するため分散利用を呼びかける。
- 混雑時は入場制限を行う。
- 飲食エリア以外での飲食を制限する。



運営スタッフ管理

- 以下の症状に一つでも当てはまる場合、スタッフの就労を行わない。
 - a. 息苦しさ(呼吸困難)がある
 - b. 激しい咳が出る
 - c. 強いだるさ(倦怠感)がある。
 - d. 発熱(37.5℃以上)の症状がある
 - e. 味覚、嗅覚障害がある。
 - f. 発熱や咳など比較的軽い風邪症状が4日以上続いている。
- スタッフのマスクまたはフェイスシールド着用率100%を徹底する。
- 来場者と直接接触する場合は使い捨て手袋を着用する。
- 就業場所、休憩所の換気の徹底行う。
- 手指消毒の徹底及び、手洗い励行する。
- 使用備品等の使用前後の消毒を行う。
- ユニフォームや衣服はこまめに洗濯を行う。
(開催期間が複数日の場合)
- 感染症対策に十分なスタッフの配置を行う。

マスクの正しいつけ方



着用前にしっかりと手洗いを行う

熱中症対策

- 感染予防対策と合わせ、熱中症対策も行う。
- 屋外で気温・湿度が高い時は、人と十分な距離を取り、マスクをはずす。
- 暑さ対策とこまめな水分補給を呼びかける。
- 給水所や自動販売機等の所在を分かりやすく表示する。
- イベント参加者が休憩できる場所を確保する。

03 対策検証

主催者によるチェック

- イベント実施に関して、準備計画に即して対策ができているか検証を行う。
- 検証にあたっては、チェックリスト等を活用し、適切な方法で行う。

感染者が発生した場合の対応

- 主催者・現場管理者・運営責任者の三者間での密な連携を図り、保健所等に速やかな連絡、報告を行える体制をつくる。
▶ 帰国者・接触者相談センター（北九州市）TEL：093-522-8745（24時間受付）
- 来場していた方全員へ注意を促す。
- 感染者発見に至る経緯を開示する。
- 会場で行っていた感染防止策を開示する。

個人情報の取り扱い

- 全参加者リストを最大で約1か月間保有しておき、緊急時には保健所等へ情報の提供を行う。
- 個人情報の処理については、適切な方法で行う。
個人情報の取扱いについては、北九州市個人情報保護条例に則って処理する。
▶ www.city.kitakyushu.lg.jp/soumu/file_7282.html

(次回実施の場合)準備計画の見直し

- 同様のイベントを継続して実施する場合は、対策検証の結果に基づき、不備があった対策について強化する。
- 準備対策を十分に遂行できた場合においても、新型コロナウイルス感染症が発生しているときは、準備計画自体の見直しを図る。

イベント開催のためのチェックリスト

No.	項目	チェック内容	計画準備	実行
1	事前情報の収集・協議	政府や行政のガイドラインから恒常的な情報収集を行い、それに則った実施内容となっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2		全国的な移動を伴うイベントまたは大規模イベント(参加者が1,000人を超えるもの)は、事前に県と相談している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	受付	入場者の検温およびマスクの着用、手指の消毒を徹底している。 ※マスクを持参していない来場者には主催者側でマスクを配布する準備ができています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4		入場時のチケット確認の簡略化や事前予約による人数調整など、来場者の混雑緩和対策をとっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5		入場待機列は1m間隔を目安に待機するよう促している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6		受付スタッフはマスクまたはフェイスシールドの装着を義務付け、来場者と対面する場所は透明カーテンやアクリル板を設置している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7		接触確認アプリ「COCOA」のインストール等を促す看板等の具体的措置を講じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8		来場者の情報(氏名・連絡先)が確実に把握される体制をとっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9		入場条件の説明・安全対策の呼びかけを徹底している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10		来場者へのパンフレット・チラシ・アンケート等の配布は、手渡し以外の方法で対応している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	お客様対応	来場者に対して会場までの移動における感染拡大防止の事前呼びかけを行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12		体調不良者を把握した場合、救護所や隔離スペースに誘導している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	会場	会場となる施設のガイドラインを遵守している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14		会場内すべてにおいて十分な人と人との間隔(1m目安)を考慮したレイアウトで収容者数のキャパシティ等の与件をクリアしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15		入退場時に密にならないよう、入退場動線を個別に確保し、段階的に入退場の案内を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16		出演者等と来場者が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じられるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては内容を見合わせている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17		来場者の大声による発声を抑止している。 また、写真撮影を行う来場者には、直前までマスクを着用し、会話を控えるよう呼びかけている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18		不特定多数が接触する場所の消毒および十分な清掃時間・スタッフ数が確保されている。また、清掃スタッフは、マスクや手袋の着用を徹底するとともに、清掃スタッフや来場者がゴミに直接接触することのないよう対策を施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

No.	項目	チェック内容	計画準備	実行
19	会場	客席内およびスタッフ控室・楽屋は、送風や窓・扉の開閉によりこまめな換気の実施およびアルコール消毒液の設置など、感染対策に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20		トイレに液体せっけんやアルコール消毒液を設置している。 ハンドドライヤーや共通のタオルの使用を禁止し、ペーパータオルを設置している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21	ステージ	ステージから観客まで2mの距離を確保している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22		ステージの周りに来場者が殺到しないよう柵を設けるなど対策を施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23		飛沫防止のためのアクリル板やビニールシートなどを必要に応じて設置している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24		お客様同士の間隔およびステージ出演者同士の間隔は適切な距離が保たれている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25		来場者をステージに上げる、発声をあおる、スキンシップをとるなどの演出を行っていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26		パフォーマンス終了の度にステージとステージ回りの消毒を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27	飲食スペース 及び 販売ブース	スタッフとお客様が対面となる場所については、透明カーテンまたはアクリル板を設置している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28		キャッシュレス決済やトレイの使用による現金の受け渡し等、支払い時の感染リスクへの対策を講じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29		レジ待機列が、1mを目安に開けられるよう工夫している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30		不特定多数が接触する場所は、清掃・消毒をこまめに行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33		大皿での提供は避けて、小皿に分け個々に提供するかスタッフが取り分けるなどの工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
32		料理やドリンクの受け渡しは、手渡しでなくトレイを使用している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33		食事中以外はマスクの着用と真正面に向き合っの着席を避けるよう呼びかけている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34		密集を回避するための分散利用の呼びかけと混雑時の入場制限を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35		飲食エリア以外での飲食を制限している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36	運営スタッフ 管理	準備段階から毎日の検温・体調管理を行い、健康状態を監督者が把握するよう努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37		スタッフのマスクまたはフェイスシールド着用率100%を徹底している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38		就業場所、休憩所の換気の実施および手指消毒の徹底等、感染対策に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39		使用備品等の使用前後の消毒およびユニフォームや衣服はこまめに洗濯を行っている。(開催期間が複数日の場合)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

No.	項目	チェック内容	計画準備	実行
40	運営スタッフ管理	感染症対策に十分なスタッフの配置が出来ている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
41	熱中症対策	暑さ対策とこまめな水分補給の呼びかけを行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
42		給水所や自販機等の所在を分かりやすく表示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43		イベント参加者が休憩できる場所を確保している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
44	感染者が発生した場合の対応	主催者・現場管理者・運営責任者の三者間での密な連携を図り、保健所等に速やかな連絡、報告を行える体制を整備している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45		会場で行っていた感染防止策を開示する準備ができています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
46		全参加者リストを最大で約1か月間保有しておき、緊急時には保健所等へ情報の提供を行う準備ができています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

本件に関するお問い合わせ

東アジア文化都市2020北九州実行委員会

TEL: 093-582-2390

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号(北九州市市民文化スポーツ局東アジア文化都市推進室内)

※本資料は感染を100%防ぐことを保証するものではありません。感染を未然に防ぎ、そのリスクを最小限に抑えるために作成したものです。

※本資料の運用は、イベントの規模、種類、期間によって詳細は異なります。

※本資料策定は、最新の厚生労働省及び福岡県の感染対策基本方針や拡大防止のガイドライン、団体・協会らの資料を参照に作成しています。

※11月26日時点での情報を基にしたガイドラインとなります。感染状況等に変化に応じて内容の変更を行う場合があります。

【参考資料】

- ・厚生労働省HP
- ・福岡県HP
- ・北九州市HP
- ・演芸場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
- ・劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

本チェックシートは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なお連絡のためにのみ利用します。

また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

個人情報の取得・利用・提供に同意する

- イベント1週間前から記入し、当日、主催者の指示に従い指定の場所に提出すること。
- 該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること(体温0.1℃単位の数字を記入)

No.		月 日 () ()	月 日 () ()	月 日 () ()	月 日 () ()	月 日 () ()	月 日 () ()	月 日 () ()	月 日 () ()	月 日 () ()
1	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	のどの痛みがある									
3	咳(せき)が出る									
4	痰(たん)がでたり、 からんだりする									
5	鼻水(はなみず)、 鼻づまりがある <small>※アレルギーを除く</small>									
6	頭が痛い									
7	体のだるさなどがある									
8	息苦しさがある									
9	味覚異常(味がしない)									
10	嗅覚異常(匂いがしない)									

氏名

所属

電話番号